

## 組織

|      |        |           |
|------|--------|-----------|
| 会長   | 美濃 俊幸  | (横手南中学校)  |
| 副会長  | 藤井 志津子 | (浅舞小学校)   |
| 研究部長 | 柴田 緩子  | (横手北中学校)  |
| 事業部長 | 高橋 輝樹  | (横手明峰中学校) |
| 監事   | 吉沢 理   | (十文字中学校)  |
|      | 千田 圭子  | (十文字小学校)  |
| 事務局  | 佐藤 潤   | (横手南中学校)  |



【夏季研修会】

## 主な事業

夏季研修会（秋田県立近代美術館研修室）  
令和4年8月20日（木）  
「糸かけアート体験」講師：牧野楊須子先生

横手市児童生徒美術展  
(横手駅前交流センターY2プラザ)  
令和4年11月11日（金）～14日（月）

秋田県児童生徒美術展地区審査  
(横手駅前交流センターY2プラザ)  
令和4年11月14日（月）



【横手市児童生徒美術展会場】

## 研究会の記録

### ○ 夏季研修会

・今年には実際に素材に触れながら、体験する研修に取り組みたいと思い、糸かけアートに取り組んだ。講師は能代を中心に活動を展開している牧野楊須子先生をお招きした。素数をもとにピンに糸を順番にかけていくと美しい幾何学模様が出来上がるというのが、糸かけアートである。もともとシュタイナー教育で素数を学習する為の学習方法として始まったというが、今では精神を落ち着かせる為に制作するという方もいるという。我々は2時間半という限られた時間の中での活動だったので、講師の先生が提示してくれた図案をもとに制作に取り組んだ。基になっている図形は同じであるのだが、選択した色糸、重なる順番の違いだけで、それぞれの作品は全く異なる表情を見せ、それぞれが満足できる仕上がりとなった。

### 〈参加者から〉

・最初は難しそう、大変そうと思ったけれど、コツをつかんだら作業スピードもあがり、いつの間にか集中して取り組んでいた。出来上がった作品を見ると、どれも素敵だった。他の人の作品を見て「そういう色の組み合わせもありだな」という発見があった。

### ○ 第46回横手市児童生徒美術展・秋田県児童生徒美術展地区審査

・同じ教科書、同じ題材をもとに取り組んでいるのだが、子供たちの作品にはそれぞれの思いや考えが込められ、見る側は、その都度感激させられる。木を描くにしても、生徒それぞれの表したいことがあり、それをどうやって表現しようかと試行錯誤している様子が絵を通して伝わってくる。また、造形遊びをもとにした作品は好きな色や形を使って、楽しむことに没頭した後に行き着いた作品であることが伝わる。

作品を前にし、児童生徒個々にどのように自分のテーマを見出させているのか、どのように発想を促しているのか、我々も情報交換をすることができ、有意義な研修の機会になった。

